

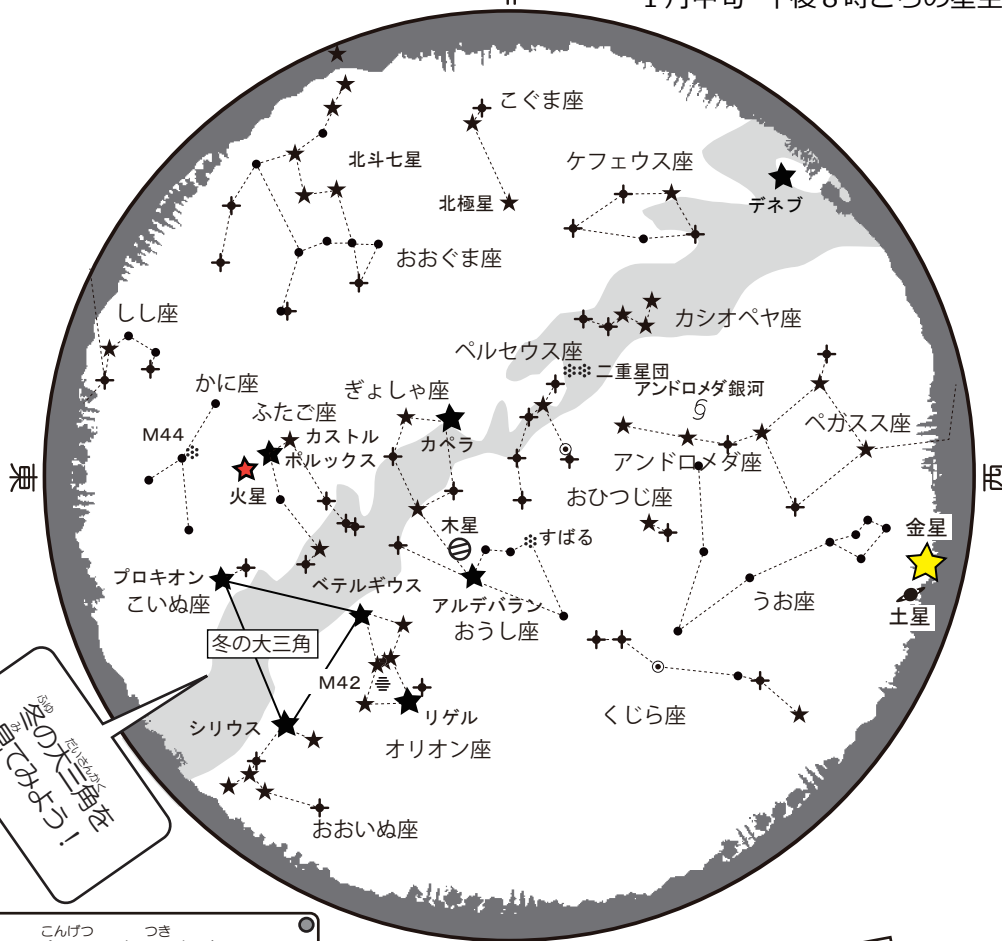
星空だより

2025年1月
No.170
富山市科学博物館



北

1月中旬 午後8時ごろの星空



海

陸

南

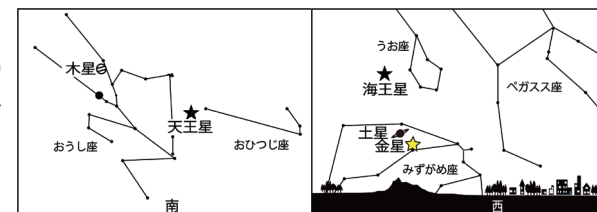
見たい方向が
下になるように持って
その方向の空を
見てね。



惑星が勢ぞろい！

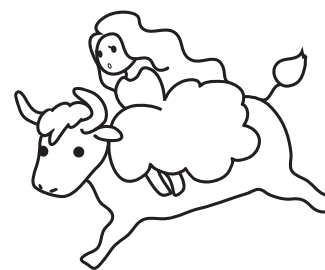
今月は夕方から20時頃まで、金星・土星・木星・火星を、一度に見ることができます。また、望遠鏡を使うと土星のそばには海王星、おひつじ座とおうし座の間には天王星も見ることができます。

星空観察会などで、いろいろな惑星を見比べてみましょう。



1月中旬20時頃の空

黄道十二星座紹介 ☆ おうし座 ☆



おうし座は、ギリシャ神話に出てくる大神ゼウスがフェニキアの王女エウロパと結婚するために変身した姿といわれています。エウロパとゼウスが共に海を渡り、たどり着いた場所は、ヨーロッパと呼ばれるようになったといわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

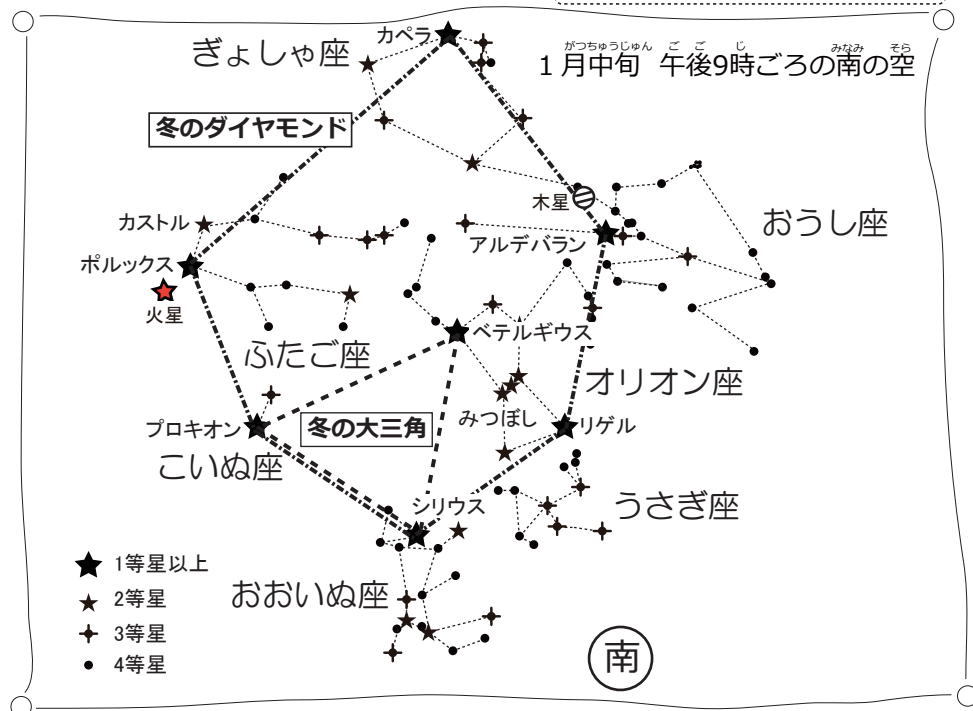
毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の さがしてみよう

冬の星座たち



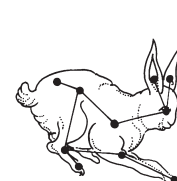
- 1 リボンのような形のオリオン座を見つけます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、冬の星座で一番明るく輝くシリウスを見つけます。
- 3 オリオン座のベテルギウス、おおぐま座のシリウス、こぐま座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つけます。
- 4 オリオン座のみつぼしを上にならべて、おおぐま座のアルデバランを見つけます。
- 5 アルデバランの北側にあるカペラと、五角形に並んだぎょしゃ座を見つけます。
- 6 ぎょしゃ座の左下に、2つ並んだ明るい星のあるふたご座を見つけます。
- 7 シリウス、プロキオン、ポルクス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

今月のオススメ星座！



オリオン座

リボンのような形をした星の並びがオリオン座です。右肩の赤くて明るい星はベテルギウス、左足のやや青みがかった明るい星がリゲルです。またこの星座には、オリオン大星雲（M42）と呼ばれる星雲があります。



うさぎ座

オリオン座の足元にある星座です。うまく星をつなぐと、長い耳やしっぽ、前足などをたどることができます。このうさぎは、狩人オリオンの獲物として作られた星座だという説があります。

天文コラム

火星が明るい！

今、火星が明るく見えています。これは、火星と地球の距離が近づいているためです。

火星と地球は、約2年2か月ごとに距離が近くなります。この近くになったときに望遠鏡で見ると、火星表面の模様や、「極冠」と呼ばれるドライアイスや氷がある白い部分などを見ることができます。

火星の軌道は楕円を描いているため、毎回同じ距離まで近づくわけではありません。今回は、地球と火星との距離が前回（2022年）よりも離れているため、見かけの大きさも前回より小さいです。次に大きく近づくのは2035年になります。

最も近づく日の1月12日（日）には、19時から科学博物館で特別観察会「火星最接近」を開催します。ぜひ望遠鏡で火星を見てみてください。

また火星は2月頃まで望遠鏡で模様を楽しむことができます。

